



平成25年 1 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年 9 月13日

上 場 会 社 名 オース株式会社

上場取引所

大

コード番号 9637

URL <http://www.osgroup.co.jp>

代 表 者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 山内芳樹

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 矢崎秀成

(TEL) 06-6361-3554

四半期報告書提出予定日 平成24年 9 月14日

配当支払開始予定日

平成24年10月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年 1 月期第 2 四半期の連結業績 (平成24年 2 月 1 日～平成24年 7 月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年 1 月期第 2 四半期	3,348	△5.7	265	△16.9	177	△20.4	81	△40.7
24年 1 月期第 2 四半期	3,549	△4.0	319	△9.5	222	△4.9	136	△3.0

(注) 包括利益 25年 1 月期第 2 四半期 93百万円 (△24.0%) 24年 1 月期第 2 四半期 122百万円 (—%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年 1 月期第 2 四半期	5.12	—
24年 1 月期第 2 四半期	8.63	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年 1 月期第 2 四半期	30,231	8,287	27.4
24年 1 月期	30,025	8,234	27.4

(参考) 自己資本 25年 1 月期第 2 四半期 8,287百万円 24年 1 月期 8,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年 1 月期	—	2.50	—	2.50	5.00
25年 1 月期	—	2.50	—	—	—
25年 1 月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 1 月期の連結業績予想 (平成24年 2 月 1 日～平成25年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,420	21.3	740	35.1	555	59.7	300	12.5	18.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年1月期2Q	16,000,000株	24年1月期	16,000,000株
25年1月期2Q	146,313株	24年1月期	145,246株
25年1月期2Q	15,853,996株	24年1月期2Q	15,856,452株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料4ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

(参考) 個別業績予想

平成25年 1 月期の個別業績予想 (平成24年 2 月 1 日～平成25年 1 月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,850	25.8	510	75.2	275	20.9	17.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成24年2月1日～平成24年7月31日）におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかながら持ち直しの傾向が見られたものの、欧州債務危機による世界景気の減速感の拡大により、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経済環境のなかで、当社グループは持続可能な成長戦略を実践するべく、収益基盤の強化に努めてまいりました。

当第2四半期連結累計期間の成績は、売上高3,348,519千円と前年同期に比べ201,211千円（5.7%）の減収となり、営業利益は265,108千円と前年同期に比べ54,057千円の減益、経常利益は177,408千円と前年同期に比べ45,383千円の減益、四半期純利益は81,144千円と前年同期に比べ55,680千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

(映画事業)

映画業界は、一部邦画にヒット作品が生まれたものの、業界全体としては、震災等の影響で落ち込んだ昨年と同水準の厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、映画興行事業におきましては、邦画作品では「ALWAYS 三丁目の夕日'64」「テルマエ・ロマエ」「BRAVE HEARTS 海猿」、洋画作品では「ダーク・シャドウ」「メン・イン・ブラック3」「アメイジング・スパイダーマン」などの話題作品を上映いたしました。

映画以外のコンテンツといたしましては、「OSシネマズミント神戸」におきまして、宝塚歌劇団の月組東京公演千秋楽「霧矢大夢ラストデイ」、宙組東京公演千秋楽「大空祐飛ラストデイ」の生中継を実施し、他館との差別化を図ってまいりました。

設備面におきましては、6月に直営館の全スクリーンにデジタルシネマシステムを導入し、上映環境のさらなる整備を推進してまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施を通じて心豊かな地域文化の確立に取り組んでまいりました。

売上高は1,147,769千円と前年同期に比べ111,394千円（8.8%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は60,491千円と前年同期に比べ1,111千円の減益となりました。

(不動産賃貸・販売事業)

不動産賃貸業界は、東京・大阪ビジネス地区ともに空室率が依然高止まりの状態にあり、賃料相場の下落傾向が継続する厳しい状況となっております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、「メタリオンOSビル」の外壁、「浜松町OSビル」エントランスの改修工事を行うなど、各ビルの安全維持と資産価値向上に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は99.1%と高稼働を維持したものの、賃料水準につきましては、厳しい状況で推移いたしました。

不動産販売事業におきましては、分譲マンションの売上を計上しております。

大阪府守口市の分譲マンション「ブレイジア大日」につきましては、本年12月竣工、完売を目指し、順調に進捗しております。また、本年2月に尼崎市東園田町にて取得した分譲マンション用地につきましては、共同事業者とともに事業化に向け、鋭意取り組んでおります。

売上高は1,470,185千円と前年同期に比べ59,960千円（3.9%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は495,058千円と前年同期に比べ84,882千円の減益となりました。

なお、不動産販売事業に係る広告宣伝費等の先行費用が売上原価に含まれております。

(ホテル事業)

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を中心に、訪日旅行も回復の兆しを見せております。

「梅田OSホテル」におきましては、一部客室の改装を行い設備の充実を図るとともに、インターネット宿泊サイトにおいてトリプルルームの販売を開始するなど、多様な宿泊ニーズに対応することにより、客室販売数の増加に努めてまいりました。

売上高は306,553千円と前年同期に比べ5,701千円(1.9%)の増収となりましたが、改装による諸経費増の影響もあり、セグメント利益(営業利益)は19,203千円と前年同期に比べ3,024千円の減益となりました。

(飲食事業)

飲食業界は、消費者の節約志向が依然根強く、厳しい事業環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、既存店舗の業態変更を行い、収益基盤の強化を図るとともに、各店舗において諸経費の節減に留意し、収益力の向上に努めてまいりました。

昨年8月に店舗の撤退を行ったこともあり、売上高は184,337千円と前年同期に比べ8,186千円(4.3%)の減収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は10,252千円と前年同期に比べ8,061千円の増益となりました。

(その他事業)

その他事業におきましては、アミューズメント施設の「ナムコランド三宮店」が、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化の影響を受け、厳しい状況となりました。

このような状況のなか、「ナムコランド三宮店」のリニューアル工事を行い、店名を「namco三宮店」へと変更し、競争力の強化を図りました。

売上高は239,674千円と前年同期に比べ27,371千円(10.2%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は34,639千円と前年同期に比べ2,651千円の減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は206,377千円の増加となりました。これは主に現金及び預金527,187千円及び有形固定資産243,535千円の減少がありましたが、販売用不動産850,467千円、前払費用56,407千円及び売掛金55,672千円の増加によるものであります。

負債につきましては153,051千円の増加となりました。これは主に長期借入金566,054千円の減少がありましたが、短期借入金657,695千円及び長期預り保証金73,497千円の増加によるものであります。

純資産につきましては53,326千円の増加となりました。これは主に利益剰余金41,507千円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は720,347千円となり、前連結会計年度末に比べ527,187千円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は490,496千円(前年同期の資金の増加は297,842千円)となりました。主な増加要因は、減価償却費342,905千円及び税金等調整前四半期純利益139,089千円、主な減少要因はたな卸資産の増加額854,335千円及び売上債権の増加額55,672千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は88,229千円(前年同期の資金の減少は102,034千円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出99,593千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は51,539千円(前年同期の資金の減少は190,809千円)となりました。主な増加要因は、短期・長期借入れによる収入1,770,000千円、主な減少要因は、短期・長期借入金の返済による支出1,678,359千円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

上半期の実績に下半期の予想を加えた通期連結業績予想は、消費マインドの低下等により、先行き不透明な状況ではありますが、第2四半期連結累計期間の業績が当初の業績予想を上回ったこと等を勘案し、平成24年3月16日の決算発表時に公表しました予想数値から下表のとおり修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,260	700	520	290	18.29
今回修正予想(B)	8,420	740	555	300	18.92
増減額(B-A)	160	40	35	10	—
増減率(%)	1.9	5.7	6.7	3.4	—
(ご参考)前期実績 (平成24年1月期)	6,941	547	347	266	16.81

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,247,534	720,347
売掛金	192,145	247,818
販売用不動産	875,073	1,725,541
商品	6,889	10,106
貯蔵品	1,062	1,712
前払費用	83,759	140,167
繰延税金資産	41,745	36,065
その他	27,116	11,683
貸倒引当金	△5,299	△7,437
流動資産合計	2,470,028	2,886,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,788,665	22,815,592
減価償却累計額	△12,131,994	△12,378,590
建物及び構築物（純額）	10,656,671	10,437,002
機械装置及び運搬具	352,745	252,324
減価償却累計額	△186,229	△107,627
機械装置及び運搬具（純額）	166,516	144,697
工具、器具及び備品	767,627	755,306
減価償却累計額	△637,741	△633,767
工具、器具及び備品（純額）	129,886	121,539
土地	15,073,710	15,073,710
建設仮勘定	—	6,300
有形固定資産合計	26,026,783	25,783,248
無形固定資産		
ソフトウェア	47,332	40,368
その他	11,415	11,132
無形固定資産合計	58,747	51,501
投資その他の資産		
投資有価証券	278,948	298,001
長期前払費用	207,975	191,355
差入保証金	510,780	510,780
建設協力金	407,096	411,083
繰延税金資産	12,410	11,311
その他	26,303	65,665
投資その他の資産合計	1,443,514	1,488,197
固定資産合計	27,529,046	27,322,946
繰延資産		
社債発行費	26,424	22,924
繰延資産合計	26,424	22,924
資産合計	30,025,499	30,231,876

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年1月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年7月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	116,774	149,914
短期借入金	2,655,055	3,312,750
未払金	62,475	82,011
未払費用	263,202	240,193
未払法人税等	11,195	69,464
未払消費税等	57,592	26,620
賞与引当金	39,824	39,915
その他	374,614	318,070
流動負債合計	3,580,733	4,238,941
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	10,292,668	9,726,614
長期預り保証金	2,236,352	2,309,849
繰延税金負債	1,365,950	1,358,605
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	194,734	189,481
固定負債合計	18,210,626	17,705,471
負債合計	21,791,360	21,944,412
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,067,586	4,109,093
自己株式	△91,138	△91,565
株主資本合計	4,842,954	4,884,034
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,700	28,945
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,391,184	3,403,430
純資産合計	8,234,138	8,287,464
負債純資産合計	30,025,499	30,231,876

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
売上高	3,549,730	3,348,519
売上原価	2,779,385	2,665,797
売上総利益	770,345	682,722
一般管理費	451,179	417,614
営業利益	319,166	265,108
営業外収益		
受取利息	4,178	4,250
受取配当金	2,885	2,887
協賛金収入	3,047	3,047
その他	676	1,351
営業外収益合計	10,788	11,537
営業外費用		
支払利息	98,274	89,377
その他	8,888	9,860
営業外費用合計	107,163	99,237
経常利益	222,791	177,408
特別利益		
貸倒引当金戻入額	4,159	—
特別利益合計	4,159	—
特別損失		
固定資産除却損	—	38,319
特別損失合計	—	38,319
税金等調整前四半期純利益	226,951	139,089
法人税、住民税及び事業税	73,343	65,277
法人税等調整額	16,782	△7,332
法人税等合計	90,125	57,945
少数株主損益調整前四半期純利益	136,825	81,144
四半期純利益	136,825	81,144

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	136,825	81,144
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△14,006	12,245
その他の包括利益合計	△14,006	12,245
四半期包括利益	122,818	93,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	122,818	93,389
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	226,951	139,089
減価償却費	402,187	342,905
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△4,165	2,138
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△76,243	△5,253
受取利息及び受取配当金	△7,064	△7,138
支払利息	98,274	89,377
有形固定資産除却損	—	33,747
売上債権の増減額 (△は増加)	△89,151	△55,672
たな卸資産の増減額 (△は増加)	63,658	△854,335
長期前払費用の増減額 (△は増加)	3,557	9,184
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,668	33,139
未払金及び未払費用の増減額 (△は減少)	12,672	△41,064
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△93,116	△30,971
預り保証金の増減額 (△は減少)	△11,022	73,497
その他	△27,414	△125,216
小計	517,793	△396,573
利息及び配当金の受取額	3,157	3,154
利息の支払額	△98,875	△89,421
法人税等の支払額	△124,232	△7,656
営業活動によるキャッシュ・フロー	297,842	△490,496
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△104,134	△99,593
有形固定資産の売却による収入	—	22,063
無形固定資産の取得による支出	—	△10,699
その他	2,100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△102,034	△88,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	240,000	120,000
短期借入金の返済による支出	△192,000	△140,000
長期借入れによる収入	1,365,000	1,650,000
長期借入金の返済による支出	△1,564,156	△1,538,359
自己株式の処分による収入	172	—
自己株式の取得による支出	△364	△426
配当金の支払額	△39,462	△39,675
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190,809	51,539
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,998	△527,187
現金及び現金同等物の期首残高	417,577	1,247,534
現金及び現金同等物の四半期末残高	422,576	720,347

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年2月1日 至 平成23年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	1,259,163	1,530,146	300,852	192,523	267,045	3,549,730	—	3,549,730
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	89,547	—	—	—	89,547	△89,547	—
計	1,259,163	1,619,693	300,852	192,523	267,045	3,639,278	△89,547	3,549,730
セグメント利益	61,602	579,941	22,228	2,190	37,290	703,254	△384,087	319,166

(注) 1. セグメント利益の調整額△384,087千円には、セグメント間取引消去△779千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△383,308千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年2月1日 至 平成24年7月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	映画事業	不動産賃貸 ・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額 (注1)	四半期連 結損益計 算書計上 額(注2)
売上高								
(1) 外部顧客への 売上高	1,147,769	1,470,185	306,553	184,337	239,674	3,348,519	—	3,348,519
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	92,442	—	—	—	92,442	△92,442	—
計	1,147,769	1,562,627	306,553	184,337	239,674	3,440,962	△92,442	3,348,519
セグメント利益	60,491	495,058	19,203	10,252	34,639	619,645	△354,536	265,108

(注) 1. セグメント利益の調整額△354,536千円には、セグメント間取引消去△1,577千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△352,959千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 第1四半期連結会計期間より、従来の「映画興行事業」から「映画事業」へとセグメントの名称を変更しております。なお、当該変更はセグメントの名称変更のみであり、事業区分の方法に変更はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。